



考動・公動・交動・向動 part 3



「止まり木」第8号・第9号で紹介した通り、3年生の修学旅行の出発式の時に話した4つの『こうどう』「考動・公動・交動・向動」について、これは日頃の学校生活にも必要なことだという事で2年生の学年通信「KIZAM」でも紹介してもらったというお話をし、全校集会でも全体にお話ししました。さらには、先週終わった1年生の一泊移住でもこの4つを意識して欲しいと学年の先生からお話していただきました。とりわけ「公共」の場での『公動』について特に注意してほしいとあり、解散式の時には、1年生はよく頑張っていたと褒めてもらっていました。確かに少し成長した顔つきで帰ってきたように校長先生も感じました。今日の全校集会では、もう一步この「公動」の意味を深めてほしいとの思いで以下のようなお話をしました。



みんなは公共の場といえば、家を一步出た外、学校を一步出た様々な場所のこととされていると思います。わかりやすい例で言うと、例えば、電車に乗った時にはいろいろなマナーが必要になります。

「車内での通話は他のお客様の迷惑になるのでご遠慮ください。」

「リュックサックなどは体の前でお持ちください。」「荷物は膝の上に

置いて、少しでも多くのお客様が座れるようにご協力お願いします。」などなど、いろいろなマナーを守ってほしいというアナウンスが流れてきます。中にはそれでも平気にマナー違反をする人がいます。これらは、特に罰せられることのないものですが、周りの人は嫌な気持ちになります。

ここで、みんなに勘違いせず知っておいてほしいことは、**学校も公共の場である**という事です。

考え方や育った環境も違う人たちが、野田中学校という共通の場所で、授業や部活動、様々な取り組みを通して成長しようと思って登校してきます。その大切な時間の中で、授業中に先生が話しているのにしゃべったり、騒いだりという事はマナー違反です。部活動中にも部活のルールがあります。それを守りながら行うことで皆が安心できるのです。守らなかったら周りが大変嫌な思いをし、迷惑と感じてしまうのです。だから、学校も教室の中も公共の場であり、「公動」が必要になってきます。外でしっかりできるみんなです。外はもちろん、知った者同士の学校でも周りに甘えず、為すべきことをしっかりとやってほしいと願っています。頑張りましょう。